

会議等開催結果報告書

1. 会議名	令和8年度（2026）第1回出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会		
2. 開催日時	令和8年（2026）5月29日 金曜日 13:30～15:00		
3. 開催場所	出雲市役所 3階大会議室		
4. 出席者	<p><委員></p> <p>朝山一玄委員、天野和子委員、岩谷政彦委員、落合邦雄委員、落合陽子委員、高橋陽委員、鳥屋尾由美子委員、中間敦司委員、原洋子委員、藤江多恵子委員、山根温子委員、吉田太郎委員</p> <p>（50音順）</p> <p>欠席：川瀬英委員、倉橋輝夫委員</p> <p><事務局></p> <p>出雲市：福祉推進課長、福祉推進課主査 ほか</p> <p>出雲市社会福祉協議会：会長、総務課長 ほか</p>		
5. 議題（会議等において検討された事項等）	<p>開会</p> <p>1 委員委嘱及び委員紹介</p> <p>2 出雲市健康福祉部長あいさつ</p> <p>3 出雲市社会福祉協議会会長あいさつ</p> <p>4 委員長及び副委員長の選出</p> <p>5 議事</p> <p>（1）出雲市福祉総合相談支援事業の取組について</p> <p>（2）市民アンケート調査実施手法について</p> <p>6 連絡事項</p> <p>（1）令和8年度推進委員会開催予定について</p> <p>7 その他</p> <p>閉会</p>		
6. 担当部署	出雲市健康福祉部福祉推進課 出雲市社会福祉協議会総務課企画係	連絡先	0853-21-6694 0853-23-3781
7. 会議要旨	以下のとおり		

1. 開会	本委員会を公開で開催、傍聴人 無し
2. 委員委嘱及び委員紹介	省略
3. 出雲市健康福祉部長あいさつ	省略
4. 出雲市社会福祉協議会会長あいさつ	省略
5. 委員長及び副委員長の選出	天野和子委員を委員長に、川瀬英委員及び高橋陽委員を副委員長に選出
6. 議事	
委員長	それでは、次第に従って議事に入ります。「出雲市総合相談支援事業の取組」について（資料1）事務局から説明をお願いします。
事務局	<u>出雲市福祉総合相談支援事業について（資料1）について説明</u>
委員長	どんなことでも結構ですので、ご質問等あればお願いいたします。
A 委員	サードプレイス等の居場所において、居心地が良くなるとそこを出たがらないという声も聞きます。就学や就労に繋がるとかということが大切だと思いますが、3ページの就労準備支援事業研修会の内容と、サードプレイスで就労に繋がったり学校に戻るなど、うまくいった事例について追っておられるかをお聞きしたい。
事務局	ご質問ありがとうございます。実際その通りかなと思っております。 まず1つ目のご質問で、就労準備支援事業の研修会になぜ出たかと言いますと、ひきこもりの方が動き出される時には、必ず社会との接続の部分が発生します。そうした時にどう社会と一番接続しやすいかと言うとやはり「就労」ということとなります。国の事業として、生活困窮者自立支援事業があり、その事業の枠の中で「就労準備支援事業」というものがあります。例えば、ハローワークに行っても求人票で検索するということがなかなかすぐにできない方もいます。ハローワークにすら行ったことがない方など。例えば昼夜を逆転していて朝が全然起きられない、いつも大体午後6時7時に起きる方に、「まず朝起きることから始めましょう」と生活を改善したり、「起きられるようになったので次は就労準備に向けて何が足りないか」という話をしたり、見学に行くお手伝いをする事業があります。私どもとお話ができるようになって、徐々に他と話ができるようになったタイミングで就労支援事業にお繋ぎをして、その方

	<p>が実際就労に至ったケースも何ケースか実際にございます。そうした経緯もあり、就労準備支援事業というところでケースの説明で私の方が研修会で説明させていただいたというところになります。またサードプレイスの方とか子ども食堂の方で、その先にどうするのかというところもありますけれども、大体多いのが私に直接電話が入ってくるのか、もしくは行った先でご相談を受けるところでもあります。最初からフォーマルサービスの話をすると中々難しいため、少し関係性を作った後に、必要であればそれぞれのサービス、例えば生活保護が必要な方だったら生活保護、それとか医療受診をして障がい年金が取れそうだなという方であれば一緒に受診をしたりとか、そういうことをさせてもらったりしています。障がい手帳をお持ちで、サービスを使っておらずお困りだということであれば福祉推進課にお繋ぎをして、相談支援専門員をつけていただくような繋ぎをしたりとか。そういった形で切れ目のない支援をするように心がけているというところでございます。今の回答でよろしかったかどうかわかりませんが。以上になります。</p>
A 委員	<p>ありがとうございました。研修会の写真に写っている方はどのような方でしょうか。</p>
事務局	<p>不登校の経験のある当事者の方に、当事者目線というところでご登壇をいただいております。また、向かって右側の方は臨床心理士で、ひきこもりや不登校に至る学術的な見地からお話をいただいた講師の先生だと記憶しています。写真の左側は、コネクトほ一むという居場所の井上様、その隣が私になります。</p>
A 委員	<p>今日ご紹介いただいたサードプレイスなど、関係機関の方々が来られたわけですか。</p>
事務局	<p>そうですね。一般公募しており、アンケートなど見させていただいたところ、やはりひきこもっておられる方や不登校の子の親御さんだったり、関係機関の方が多くいらっしゃるという風に見ております。</p>
B 委員	<p>今、様々な機関と連携ネットワークを作っていたところですが、ひきこもり支援の専門機関として市内に子ども・若者支援センターなども入っているかなと思いますが、ひきこもりだったり、ひきこもり傾向にある皆さんの支援の連携とか役割分担など、どのような形で今ご協力されているのかをお聞きしたいというのが1点。もう1点は、医療機関との連携をどう進めてらっしゃるのかお尋ねできたらなと思います。</p>
事務局	<p>1つ目、子ども・若者支援センターとの棲み分けというところですが、子ども・若者支援センターというところが合銀の隣に拠点があり、基本的には来ていただいている面談をしておられます。39歳までという年齢の区切りもございます。前提条件として、まずお越しいただける方で、かつ39歳以下の方とい</p>

	<p>うところがターゲット層になります。また学齢期は除くため、中学校までの義務教育のところはスクールソーシャルワーカーがターゲット層になり、その間のところが子ども・若者支援センターの対象であるなど我々認識をしております。</p> <p>例えば中学校ずっと不登校で卒業され、なかなかその先がない方。親御さんもそんなに積極的に子ども・若者支援センターには行かない、だけど会いに来てくれるんだったら会いますよという方もいらっしゃるので、そういう方に私たちがアウトリーチでお会いしたりという風な形を取ると。行ける方は子ども・若者支援センターへも行っていただいて、うちへ来ていただいても当然いいんですが、そうした棲み分けをしているというところなんです。もう1つはやはり39歳の年齢の区切りがあるので、そうした区切りが来てそろそろもう子ども・若者支援センターの支援が終わりそうだなというタイミングにおいて、私どもの方にご相談があって引き継ぐというケースの2通りがございます。</p> <p>それと医療機関との連携というところですけども、資料1の中でもありますが、6番目の精神保健包括支援会議というのがございまして、これは出雲保健所が開催している会議でございます。ここに全ての病院ではありませんが精神科を持つ病院が参画しており、そうした病院との連携はこういう機会を捕まえて少しずつ連携が取れているところでございます。一般の病院となるとまだなかなかそこまで連携ができていないのが実感としてはございますので、そうしたところは課題として今後検討していく必要があるなど再考させられます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。少し時間が押してまいりましたので、議題2の方に移らせていただきたいと思います。議題2（資料2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><u>市民アンケート調査実施手法について（資料2）説明</u></p>
委員長	<p>事務局からの説明につきまして、何かご意見、ご質問等はございますか。アンケート項目が多いので増やしくさはあるようですが、例えば選択肢でもうちょっとこの辺追加した方がいいという風なことであれば大丈夫でしょうか。</p>
事務局	<p>それは可能です。</p>
委員長	<p>いかがでしょうか。前回、回収率が400人を超えたということですね。</p>
事務局	<p>そうですね。前回も1,500人にお送りして約4割の回答率でしたので。前回も400人は超えております。前回の回収数は592というところなんです。</p>
委員長	<p>前回調査で無作為に当たった方はこの中におられますか。数が多くてという風なこともありましたが、やってみられたご感想でも結構ですのでお願いします。</p>

C 委員	<p>コミュニティセンターに勤めており、仕事上も関係があるのでちょっと関心を持って答えたような記憶がありますが、なかなかそうでない一般の方とかは難しい内容だったかもしれないかなと思ったりしました。</p>
委員長	<p>特に回答が無記載の項目が非常に多いとか、あまり取り立ってはなかったですよね。どこかに丸をつけていただいている、回答いただいているのかなと思いますが。</p>
D 委員	<p>アンケートの4ページ第15問になりますが、「町内会に加入していないと回答した方にお尋ねします」という質問なんですが、テストで1回してみたんですけど、自分のところに町内会がなくて入れないという時に、「その他」にしか書けないというところを指摘したところなんですが、「町内会がない」という選択肢もあってもよいのかなと思うんですがいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>今問15に選択肢として町内会が住んでるところにないという選択肢がある方が、「その他」に書いていただくよりいいのではないかとご意見ですが、こういったところが増えていきますかね。</p>
D 委員	<p>賃貸とかマンションとかになると基本的にないところが多いため、無作為に対象者を抽出するので、やはりそこはあった方が簡単かなと思ったところです。</p>
委員長	<p>自治体加入率が下がってるというのも今年のこの委員会でもご意見が色々出てきたと思いますので、また事務局の方でご検討いただいて入れていただける方向であればお願いしたいと思います。よろしいですか。</p>
事務局	<p>選択肢⑨の「特に理由はない」の1つ前に入れる形にしたいと思います。</p>
委員長	<p>その他気にかかったことやここはどうかというところございますか。</p>
E 委員	<p>問13が自治体の加入の有無を聞く内容なので、そこに「自治体がありません」を入れても良いかと思いましたが、D委員の意見を聞いて、問15で入れても良いかなと思ったところです。</p> <p>また、選択肢の順番を変えることによって回答も変わってくる可能性もあるのではと感じました。</p>
事務局	<p>大変面白いご意見ありがとうございます。</p>
委員長	<p>順番を変えるとまた昨年との集計の比較でややこしくなりますか。</p>

事務局	それはあまり心配ないです。なので、本当にやってもいいかもしれないです。検討したいと思います。
事務局	先ほど委員長が答えにくい項目がなかったかという話で、前回のアンケートを見たところ、問5の「困っていることや解決するための情報をどのように入手されますか」というのが、14%の方が無回答で他の項目に比べて少し多かったかなと思います。そもそもあまり困ってない場合、無回答につながることもあるのかなと感じます。
委員長	問5の、困っていること解決するために情報をどこから得るか。意図的に市と社協を選択肢に入れているかなと思いますが、テレビとかはないですね。選択肢で検討の余地がありますか。
事務局	今であればAIとかもありかなと思いますが、前回「その他」で多い意見があれば選択肢に入れるかどうかということも検討させていただきたいと思います。
G委員	問6、7を見ていて、地域福祉活動の例で、例えば子ども食堂やファミリーサポートなどで活動している人はどうなるのかなと思いました。活動が活発なところを例示すると回答しやすくなると思いました。
H委員	今日初めて参加させていただきましてよろしく申し上げます。私も2年前にアンケートを答えた印象がありまして思い出していたんですけども、問2の「日々の生活は楽しいですか」に対して、どうだろうと思いました。私自身、4人子育てをされていてシングルマザーです。2番目の子が重度心身障がい者で寝たきりでいろんなサービスを使わせてもらっているんですが、まず地域福祉活動に参加できると言われるとなかなか地域に行けないという現状がや多く、その1つのハードルと言いますか、ユニバーサルシート、多目的トイレのベッドがベビーベッドのことが多いんですけど、もううちの子も大きくなっていてどこで紙パンツを替えたらいいのかっていうのがまず外出先で困るので外出できないっていう方も結構いらっしゃいます。まずはそこを探したりとかしないといけない。またランチに行きたいけれども、呼吸器など医療的ケアがある方とかは電源があるところ、電源がないからちょっと諦めようっていう本当にちょっとしたことなんですけど外出がすごくハードルが高い方がたくさんいらっしゃいます。あとは子どもたちのインクルーシブ遊具。公園に行きたいなと思っても障がいがあるお子様たちが遊べる遊具がなかったりとかするのでちょっと公園に行くのやめてもう家でゆっくりしようっていう方もおられます。本当に私たちマイノリティなのでなかなか声を大にして言えないと言いますか、海外にはあったよっていうお母さんとかもいらっしゃるんですけど、じゃあ出雲市のどこにインクルーシブの遊具があるのかなとか探してみたりとかもするんですけど。車椅子が入れる飲食店とかもあってそこに問い合わせをす

	<p>るんですけど、その日は予約がいっぱいでと言われたり。私も本当に毎日子育てしながらいろんなことをクリアしながら生きてきてはいるんですが、なのでこの問3の「悩みや困りごと」も本当に5つ以内では選びきれないということが気になっていて。本当にこのサードプレイスの場所の多さにとってもびっくりして、私自身が高校の時不登校だったんですけど、その時はこんなになかったので、本当に学校からもお便りでこういうのがありますよっていうのが今はすごくたくさんありますし、スクールカウンセラーの方のお便りを見て情報が取りやすくなったなっていう風を感じてるんですけど、障がいがある方が地域で生き生き過ごせているかというハード面の施設だったりとか段差だったりっていうのがまだまだあるなという印象を受けています。感想ですけどよろしくをお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>今のご意見はアンケートの項目というよりは、また計画の策定の段階で色々ご意見をいただく中に盛り込んでいくこと、このアンケートで取れない内容を再度改めて対象の方を何人かにお願いして、複数のご意見を計画に反映できるように再アンケートを取ってみるとか。ここのアンケートで今ご意見いただいたことが十分取れるかというとなかなか厳しいように思うので、段階的に来年の計画を作り直す時に今入ってない項目を付け加えていくということで盛り込ませていただく、またこれからの委員会でご発言いただく。</p>
<p>H 委員</p>	<p>段階的にということは、これまでももされたことがありますか。</p>
<p>委員長</p>	<p>必要があれば会議を招集してもよいと要項にも書いてあるので、特に関係のある委員で再度詳しい聞き取りをしてみようということもありだと思っております、そのようなやり方で本当に実のある計画に持っていくということをやりたいという、委員会の要望として作っていただけるとよいかと思っております。私の今勝手な意見ですが、今おっしゃっていただいた本当に困り感というところが解決できる計画にしていきたいと思うのでご検討いただければと思いますが、いかがでしょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今お聞きした意見、非常に有用な意見だなと思っておりまして。この会議とは別に障がい者施策推進協議会の事務局を持っております。今年度、その次期計画策定年度というところもありまして、昨年度のところで障がいのある方当事者の方とかご家族の方に対してのアンケートとかを取らせていただいてまして、その中で例えば言われたトイレの問題とかそういったことも自由意見の方に書かれている方もいくらかありましたので、まずはそちらの障がい者計画とかですね、そういったところで反映できないかというところを検討してみたいと思います。補足ですけど、市のホームページに、公共施設のトイレ状況を載せております。あまり分かりやすいページではないんですが、そういうのもまた見ていただければありがたいなと思います。</p>

<p>委員長</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p> <p>7. その他</p> <p>8. 閉会</p>	<p>色々な委員会が動いてるようなのでまた事務局の方で集約していただきながら、必要であればまた追加で調べていくということで整理させていただこうと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたら、これから作成ということで今いただきました意見を参考にして事務局の方でご検討いただいて、6月に入ったら実施ということのようですのでお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それではもう1つ議題、次第6の連絡事項に入ります。「令和8年度推進委員会開催予定について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p><u>令和7年度推進委員会開催予定についての説明（資料3）</u></p> <p><意見なし></p> <p>本日の議題は以上となります。</p> <p>以上で本日の委員会をこれで終了いたします。ありがとうございました。</p> <p><u>出雲市社会福祉充実計画に関する地域協議会についての説明</u></p>
---	--